

自然生態園

さぬきの森 冬



お客様へお願い

・動植物の採取は禁止となっております。
 ・自然環境を保つため、かぶれやすいオオマムシ、スズメバチなど危険な動植物も生育・生息しています。ご注意ください。
 ・生態系保護のためペット類の持ち込みはできません。
 ・足元は、ウォーキングに適した靴を履いてください。
 ・さぬきの森へは、閉園1時間前までにお入りください。
 ・お車、自転車での入場はできません。



風景 アカマツ林 常盤木の丘

さぬきの森周辺は、昔からアカマツが多いエリアでしたが松くい虫により多くのマツが枯れてしまいました。松くい虫に強いマツ苗を植えて元のような立派なアカマツ林の再生を行っています。

ミヤマホオジロ

冬鳥 12月～3月
自然生態園・さぬきの森
林の周りの草むらでチッチッと鳴いていて、頭の羽が冠のように立ち黄色い模様が特徴です。草の中を歩きながら、草のタネや虫を食べています。



ルリビタキ

冬鳥 12月～3月
自然生態園・さぬきの森
オスは写真のような「青いどり鳥」ですが、このような色になるには生後4～5年かかります。メスや若いオスは、地味なオリーブ色です。



植物 コバノガマズミ

11～2月 / 南の台地、逆様池周辺



赤く色づいた実は、甘酸っぱく、野鳥たちの大好物。食べられた実の中にある種子は糞といっしょに地面に落ちて、春にはそこから新しい芽を出します。

植物 ソヨゴ

12月～3月 / 自然生態園・さぬきの森

常緑広葉樹で、冬でも緑色の葉をつけています。赤い実はよく目立ち、野鳥たちにとって冬の間の貴重な食べ物となっています。



植物 ヤブツバキ

2月～3月 / さぬきの森

山地に生える常緑の高木または低木です。2～3月頃に赤色の花を咲かせます。蜜が豊富なので、鳥のメジロなどが吸蜜に訪れます。



動物 アオサギ

1月～ / 南の谷・逆様池
正面からは白く見えますが、横、後ろからは灰色に見えます。成鳥では首が白く、頭に黒い冠羽があります。首や足が長く（首を縮めているものもいる）、長めの鋭いくちばしで、魚などをとります。



動物 キタキチョウ

自然生態園全域
成虫越冬する蝶にキタキチョウがいます。冬の間は草陰などで身を潜めてじっとしています。早春の暖かな日にはスマレなどで吸蜜する姿が観られます。



動物 セトウチサンショウウオの卵塊と成体

1月～2月 / 南の谷、東の谷



体長10～12センチくらいの小型のサンショウウオ。ニホンアカガエルと同じように、一旦冬眠から目覚めて産卵します。卵は水中の小枝や石に産み付けられます。

動物 ニホンアカガエルの卵塊と成体

2月～3月 / 北の谷、南の谷



冬の夜、いったん冬眠から目覚めて田んぼや湿地の水たまりに卵を産みます。一匹のメスが産む卵は400から700個で、産卵後は暖くなるまでふたたび冬眠につきます。